

- 思考力の芽生え -

いいこと考えた!

いっぱい水  
運んでるんだけど…



また、  
水なくなったね  
どうしてかな?

手でもシャボン玉  
ができるよ



芝生ではタイヤが進まないことを、前のジェットコースターで学んでいた子どもたち。その経験を生かして、平らな板を作ることに。「板の上なら、どんどん進むね!!!」



振り返りの時に…

ちょっとまって!!

「ほし組さんが、乗っている時にグラグラしていたよ!」と気付いたさくらちゃん。「ケガをしないように車にしようよ!」「段ボールを乗せるのはどう??」と話が弾み、早速ちょうど良い大きさの段ボールをみんなで見繕い、教材室から持って来ました。

「乗り降りできるようにドアをつけよう」「前が見えないから、前にも窓をつけようよ」と、ゆゆなちゃん。「それ、いいね」と、すぐに反応してくれるなのはちゃん、みおちゃん、さくらちゃん。イメージが合致し、段ボールカッターで切ってみることにしました。誰が切るかで揉めたりもしましたが、みんなで順番に切ろうと子ども同士の相談で決まり、段ボールを切り、乗り物が完成しました。



遊園地で乗った経験のあるなのはちゃん。「そうだ、最後、お水バッシュンしようよ!!!」と、思いつき、最後は水のしぶきがあがることに。お客さんも大喜び!?

先生たちは、時期を捉え、子どもたちがこれまでに経験してきたことを思い出しながら自ら遊びだせるよう、遊びの環境をさりげなく設定します。ただ、泡遊びを楽しんでいるのではなく、同じ石鹸でも、使う材料や水の分量、扱い方によって変化する不思議さや面白さに、子どもたちが自らやってみることで気づくことができました。



やったー!  
つながった!!



ここ掘ったら  
どうかな?

次第に子どもたちの興味は、洗濯から泡へと移り、水を少なくして泡立てると、泡が生クリームのように角がたつようになることに気付き、クリーム作りに夢中になる姿が見られました。



お風呂で使う泡立て用のスポンジで固形石鹸をクシュクシュ



おろし金で石鹸をこすると粉々の石鹸に…まるでチーズみたい



ザルでも石鹸が削れることに気付いて…



泡だて器でかき混ぜるとふわふわに

<教師の思い>

これまでの経験を基に、身近な素材や材料を自ら選択して遊びに取り入れ、イメージしたことを繰り返す楽しさや新たな考えが芽生えるおもしろさを味わってほしいなあ



らっしゃいませ!! カフェへようこそ♡

「泡は白だから、色をつけたい」という子ども達の言葉。「泡に色はつくのかな??」と実験してみることに。「そうだ!! にじ組の時にかき氷シロップを使ったよ!!」という事を子どもたちが思い出し、シロップを使って色付けしてみることにしました。何とも言えない2層のおしゃれな飲みもの。小さい組のお友達も思わず、そのきれいな泡を触りたくなくて、指で触ってみたい後、「おいしそう」とキラキラした憧れの目で年長の遊びを見ていました。



これが紙石鹸? 不思議だね!!



- 水が多いと泡は白、下の液体に色がつく
- 泡を一生懸命にかき混ぜると、泡にも色がつく
- いちごとレモンシロップを混ぜるとオレンジ色になる
- ティッシュを溶かして(実際には溶けずに残っていますが)、泡の中に閉じ込めてハートの石鹸を作ろうと試行錯誤する姿もありました。そこから、紙石鹸というものがあることを知り、本物の紙石鹸に触れると「これは何?」「紙?」「泡がでた!!」と感銘を受けていたので、紙石鹸づくりに移行するかと思いきや…そこにはあまり興味が深まってなく、現在も色付き泡づくりに夢中になっています。まだまだ、新しい発見に乞うご期待!!

かわいいお花のケーキができました



野菜の苗が生長し、花が咲き、実をつけていく過程の中で、葉の形や実の大きさ、色や感触の違い、匂いなど、たくさんの発見や気づきにつながりました。また、水のあげ方や必要な量、雑草の抜き方などお世話の仕方を年長児が年下の子たちに教えるなど、しぜんな異年齢のかかわりが生まれました。

### ☆夏野菜の苗を植えました！☆

7日、プランターにきゅうりとトマトの苗を植えました。「これがトマトの赤ちゃんだよ！」と苗を見せると、不思議そうな顔をしていた子どもたち。「今日からみんながきゅうりとトマトのお父さん、お母さんだよ！毎日優しくお水をあげてね！」と話をする、「え！お父さんなの！？」と、嬉しそうなお友達も。葉や実、花の様子など様々な生長の変化にも興味をもてるよう、観察を楽しみながら、大切に育てていきたいと思ひます。

この虫は何を食べるかな？



葉っぱの雨みたいでしょ



## -自然との関わり・生命尊重- ふしぎだね



## にじ組には生き物がいっぱい！飼育を通して・・・

先日、みんなで捕まえてきたオタマジャクシが、遂にカエルになり、「餌って何だろう？」「オタマちゃんと一緒に餌？！」と疑問が出てきました。早速、子どもたちは、オタマジャクシとカエルの絵本を持ってきて調べ、カエルの餌は、生きた虫ということがわかった。「え？！生きた虫っ？！」と想像にないことで驚いていました。たくましいにじ組さんは、アリや飛んでいる小さな虫、実についていたイモムシなどを見つけると虫かごにどんどん入れる姿が見られましたが、生きた虫を食べている様子は見られませんでした。次々とカエルに変身していく姿を喜びながら、虫かごは、あっという間に定員オーバーになりました。教師が「このままカエルさんを虫かごで育てていけるかな？」と投げかけると、「育つ！」「狭い」「餌がない」「虫かごではかわいそう...」「死んじゃう」などと様々な声が聞かれ、「じゃあ、どうする？」という話から「捕まえてきたおうち（池）にかえす」「大川に逃がしたい」と話し合いの結果、住んでいた池にかえすことに決めました。

池にかえす日はあいにくの雨でしたが、子どもたちの「元気に大きくなってね」「また来るね」という声をききながら、一斉にカエルたちは虫かごから飛び跳ねて池に向かっていきました。「なんだか寂しいね...」の教師の声に「またここに見にければいいんだよ！！」「大きくなあれ！」とポジティブなにじ組さんでした！！

にじ組には、カイコやダンゴムシ、オタマジャクシがいました。毎日、餌をあげたり、水をかえたり、ウンチをとったり、繰り返しお世話をすることで愛着が湧いたり、大変さも感じたり、飼育を通してこれから命の大切さも少しずつ感じていけたらと思ひます。

にじ組で飼ってみようよ！



おいしい、梅ジュースになあれ

この虫...名前なんだろう？



飼育をするために必要なことを調べ、飼育ケースを掃除したり、生きた餌を捕まえたりするなど、毎日一生懸命お世話を継続することで、生き物への愛着が生まれ、命の大切さに気付くことができました。

オタマジャクシのおたちんとたまちゃんに煮干しをあげたよ！



足が生えている！！



尻尾がない？！？！



カエルになったあああ！！



手にのった～！！



かいこさん、繭になったよ！



ダンゴムシは乾燥に弱いから水をシュッシュ〜するよ。



池の上に大きな物体が！！何か調べよう！



石と同化してわからないね。「大きくなってねえええ！」



### <教師の思い>

身近な動植物と触れ合う中で変化や成長に気づき、生命を大切にしようとする心を育ててほしいなあ



見てくれて、ありがとうございました！



ねえ、一緒にあそぼ？



いいよ！

こっちの方がたくさんあるね



- 数量や図形、  
標識や文字などへの  
関心・感覚 -

1. 2. 3...  
今何個？

お誕生日会のおやつは、  
ほしくみは6こ



綺麗な模様ができだね



「7」になったら  
おしえてね！



同じ形を  
集めよう！



言葉でのやり取りだけではなく、文字の必要性を感じた子どもたちは、「おぼけの“お”とつぶやき「あいうえお表」を見ながら看板を書いていた。遊びを通して文字に親しみ、「コミュニケーションのツールの1つとして活用できることを学んでいました。

“文字にして表したい”という  
場面が増えています。



<教師の思い>

思いや考えを言葉だけでなく文字で表現することで、遊びや生活が豊かになることに気づき、必要感をもって書いたり使ったりするなど興味関心をもってほしいなあ

年長になり、必要なことを「文字や数字」で表そうとする姿が増えています。お化け屋敷の道案内に、〇だけでなく「とおれます」と書いていました。また、お化け屋敷で年少中さんが、怖い思いだけをするのはかわいそうだから、お土産を作ろうとさくらちゃんが提案し「ひとつもらえます」とゆゆなちゃんが書いていました。あいうえお表を見ながら、一生懸命に書く姿に、「伝えたいことがあるからから書きたい」という意思の強さを感じ、これこそが“遊びを通して学ぶ”であることを子どもたちを見て感じています。

友達との会話もどんどん深まっていることを感じています。自分の思いを一方向的に伝えるだけでなく、一度受け止め、「でもさ…」「それもいいけど、私は…」と、自分の思いを伝える姿が増えています。互いに譲れず話が平行線になることもありますが、答えがすぐに出なくても、そのやりとりや、葛藤する過程に子どもたちの伸びしろがたくさん含まれているので、そういう場面をこれからも大事にしていきたいと考えています。

太鼓 どんどんっ！



音が合ってきたね

もう少し…  
「7」になったよ

- 豊かな感性と表現 -  
それ、すてきだね

♪パッパッ  
パイナップル～



ここはみんなで  
ジャンプしてみようよ！



本物のアイドルみたい☆  
その踊り可愛いね！



いい考えがある!



どうしたら勝てるかな?

お野菜切るね?



いらっしゃいませ



これください!

これを洗うんだよ



どうして、こうなったの?



やってみよう!



そこ、おさえててね

OK!



100円です。

## - 言葉による伝え合い - ねえねえ、あのね

### <教師の思い>

共通の目的に向かい、自分とは異なる相手の考えをじっくり聞いたり、自分の思いを伝えたりしながら、考え直したり折り合いをつけたりする気持ちをもってほしいなあ

異年齢児とのかかわる中で、年下の友達を思いやり「優しい言葉」でわかるように話す姿が見られます。また、話し合いでは自分の思いや考えをしっかりと発言する姿も見られました。安易に多数決やじゃんけんで解決するのではなく、友達の思いも受け止めながらそれぞれが折り合いをつけられるよう話し合い、想いのこもったチーム名が決まりました。

### ★チーム名決め★

それぞれのチームに分かれてにじ組さんと一緒に話し合いました。

いるかチームとチーターチームに決定するまでは、「サメ」「うさぎ」「らいおん」「とり」「とんぼ」など様々な候補がありました。どれにも理由があり、「足が速い」「強い」「小さい獲物を食べる」などと、自分の知っていることを伝えながら真剣に話し合う姿がありました。たくさん出た候補を一つに絞り込む場面では、簡単に多数決やじゃんけんに移行することなく、「絶対これがいい!!」という意志の強さを年長さんから感じられ、それだけ一生懸命に考えている姿が嬉しく感じました。いるかチーム、チーターチーム!! その名前に入められた思いがある分、頑張ってくれることと思います。

